

目ごろの備え

非常時持ち出し品【避難時にまず持ち出す】

●非常食関係

☐ 飲料水 ☐ 乾パン ☐ 缶詰 ☐ 缶きり ☐ 粉ミルク など

●生活用品

☐ 懐中電灯・ろうそく ☐ 携帯ラジオ・予備電池 ☐ 携帯電話
☐ モバイルバッテリー ☐ 充電ケーブル ☐ 手回し発電機
☐ ライター・マッチ ☐ ティッシュ・タオル ☐ 雨具・長靴・防寒着
☐ 衣類・下着 ☐ 軍手・マスク ☐ ヘルメット・防災ずきん など

●貴重品

☐ 現金 ☐ 通帳・印鑑 ☐ マイナンバーカード
☐ 免許証 ☐ 健康保険証 など

●救急医療品

☐ 傷薬・包帯・ばんそうこう ☐ 常備薬・持病薬
☐ 処方箋の控え など



非常備蓄品【災害復旧までの数日分(最低3日間)準備する】

●非常食

☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
☐ 保存食(缶詰・レトルト食品・アルファ米など)
☐ チョコレートなどの菓子類 など



●生活用品

☐ 毛布・寝袋 ☐ 新聞紙 ☐ 洗面用具 ☐ なべ・やかん
☐ トイレットペーパー ☐ ウェットティッシュ ☐ 筆記用具
☐ 給水用ポリタンク など

●燃料

☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ ☐ 使い捨てカイロ
☐ 固形燃料 など

地震発生時の行動のポイント

経過時間

ポイント

緊急地震速報・地震発生時は身の安全の確保を!

緊急地震速報～地震発生

- ・家では丈夫な机の下など、安全な場所に避難する。
- ・運転中はハザードランプを点灯し緩やかに速度を落とす。
- ・施設内では係員の指示に従う。あわてて出口に走らない。
- ・外にいたときはブロック塀の倒壊、看板やガラスの落下に注意。



地震発生後は、周囲の安全確保を!

地震発生後

- ・スリッパなどをはき、転倒した家具やガラスの破片などに気を付ける。
- ・揺れが収まったら火の始末をする。
- ・窓や戸を開け、出口を確保する。
- ・テレビ、ラジオ、市役所などの情報から正しく状況を把握する。
- ・自宅の安全を確認後、近所にも声を掛けて安否を確認する。
- ・危険が迫っていると判断した場合は避難する。
- ・避難は徒歩で行い、持ち物は背負える範囲にする。
- ・近隣住民で協力して消火活動や救護活動を行う。



災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル

操作方法

- ①171をダイヤル
- ②音声ガイダンスに従い、録音または再生を選択
- ③被災地の方の電話番号を市外局番から入力
—— 伝言ダイヤルセンターに接続されます ——
- ④音声ガイダンスに従い、メッセージの録音または再生
- ⑤終了(自動で終話します)

伝言録音時間: 1伝言30秒以内

伝言蓄積数: 1電話番号あたり1～20伝言

伝言保存期間: 運用期間終了まで(自動消去)

※詳しくはお近くのNTTにお尋ねください

地震防災マップ・建築物の耐震化に関するお問い合わせは

富良野市建設水道部都市建築課

住所: 〒076-8555 富良野市弥生町1番1号

TEL: 0167-39-2316

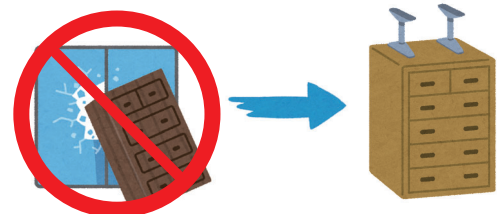
FAX: 0167-39-2332

令和4年3月改定

家の中の安全も見直しましょう!

建物が大丈夫だから安心。でも、家の中はどうでしょうか？
地震による負傷は、約3～5割が家具の転倒・落下によるものです。

- ・家具は倒れても安全な配置にしましょう。
- ・出入り口はできるだけ物を置かず通りやすくしましょう。
- ・本棚、食器棚、テレビ、冷蔵庫などは柱や壁に金具を取り付け固定しましょう。



地震発生直後はデマ情報に注意!

地震発生直後など、情報が不足しているときは、誤った情報が広がりやすくなります。受け取った情報の根拠を確かめ、惑わされない様注意しましょう。



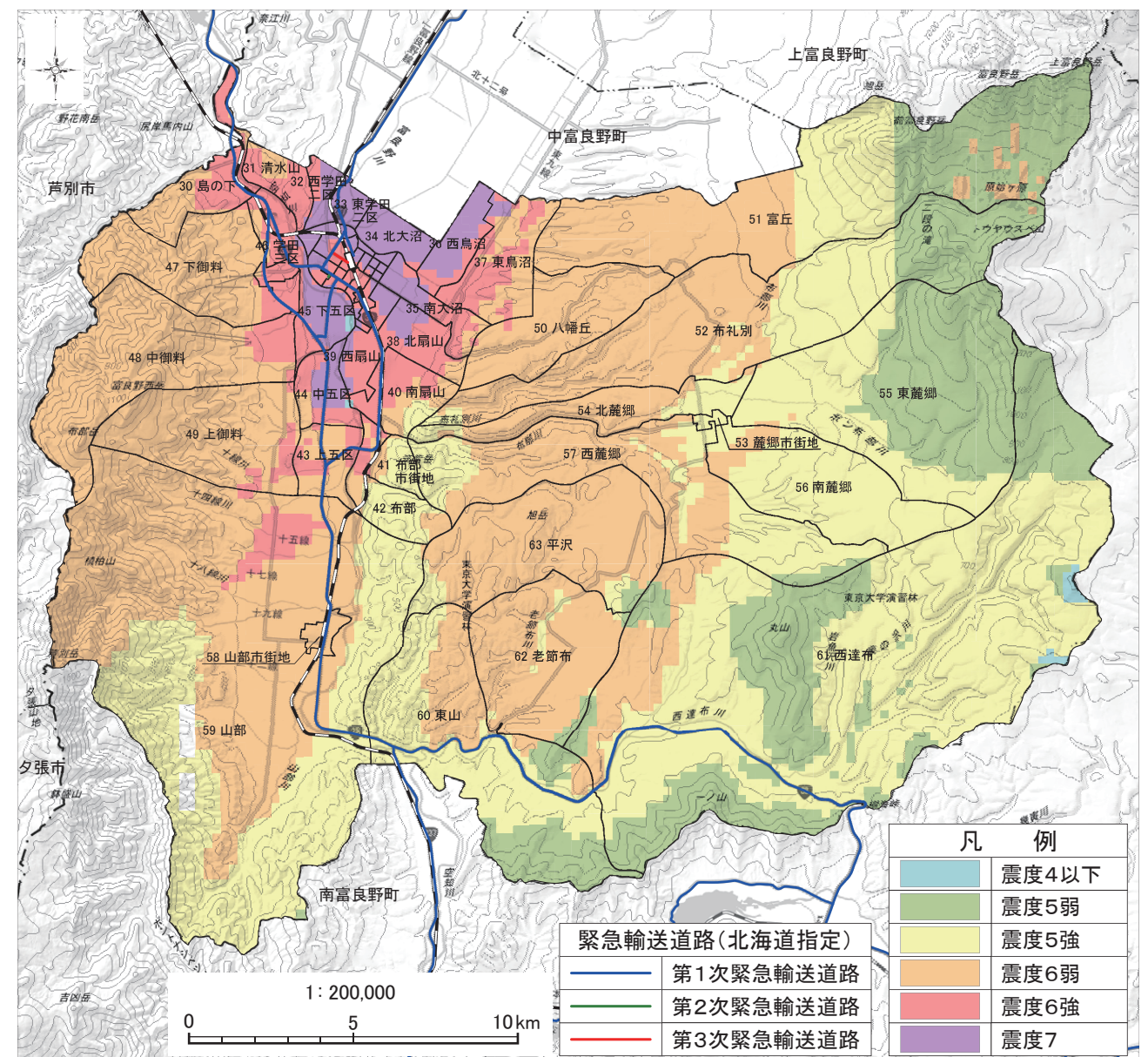
富良野市 地震防災マップ

揺れやすさマップ (震度分布図)

●揺れやすさマップとは？

富良野市では、地震について市民の皆さまに関心と知識を持っていただき、日頃から備えをしていただくために、地震防災マップを作成しました。

揺れやすさマップとは、富良野市に大きな影響を及ぼすと考えられる富良野断層帯西部の活断層による地震を想定し、250mメッシュの震度分布を表示したものです。この活断層による地震が発生した場合、被害は甚大になることが予想されます。



注意

ここで表示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さであり、地震の発生の仕方によっては、揺れがこれよりも強くなったり、弱くなったりすることがあります。